

第1章 人口に関する基礎分析

1 人口構造・人口動向等の分析

(1) 桶川市の人口・年齢別人口・性別人口・町丁目別人口

本市の人口を国勢調査によりみると、平成 22 年は 74,711 人であり、近年、微増傾向で推移しています。長期の動向をみると、昭和 35 年は 21,309 人であり、それまでは微増傾向で推移しており、それ以降、平成 2 年の 69,029 人まで急増しました。このようなことから人口の推移を、昭和 35 年までの人口微増期となる第 1 期、昭和 35 年以降から平成 2 年までの人口急増期となる第 2 期、そして、平成 2 年からの人口微増期となる第 3 期と、大きく 3 期に分けることができます。なお、人口急増時に生まれた人は、現在、25～55 歳となっています。

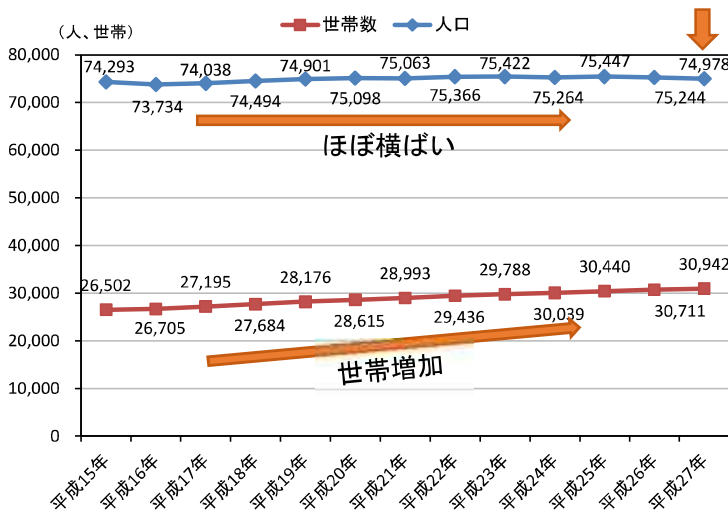
一方、世帯数は、増加傾向を示しています。

住民基本台帳で近年の動向をみると、ほぼ横ばいで推移しており、平成 27 年には 74,978 人となっています。なお、世帯数は増加傾向で推移しています。

■人口・世帯数の推移〔国勢調査〕



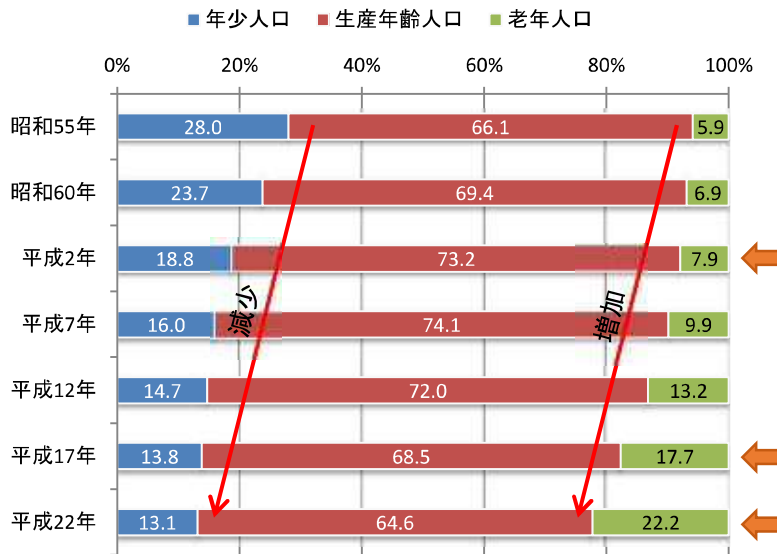
■人口・世帯数の推移〔住民基本台帳：各年 10 月 1 日現在〕



年齢別人口をみると、平成22年の年少人口は13.1%、生産年齢人口は64.6%であり、いずれもその割合は減少傾向にあります。一方老年人口は22.2%であり、平成2年に“高齢化社会”となってから、平成17年には“高齢社会”、平成22年には“超高齢社会”となり、急激に高齢化が進んでいます。

老年人口指数をみても、昭和55年の8.94から平成22年には34.43と急激に増加しており、昭和55年は老年人口1人を生産年齢人口11人程で支えていましたが、平成22年には生産年齢人口3人程で支える状況となっています。

■年齢別人口〔国勢調査〕



■年齢3区分別人口及び構成比〔国勢調査〕

年次	総数		年少人口		生産年齢人口		老年人口		不詳	
	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)
昭和55年	55,747	100.0	15,597	28.0	36,824	66.1	3,292	5.9	34	0.1
60	61,499	100.0	14,598	23.7	42,650	69.4	4,224	6.9	27	0.0
平成2年	69,029	100.0	12,944	18.8	50,516	73.2	5,452	7.9	117	0.2
7	73,084	100.0	11,678	16.0	54,170	74.1	7,227	9.9	9	0.0
12	73,967	100.0	10,892	14.7	53,278	72.0	9,748	13.2	49	0.1
17	73,677	100.0	10,197	13.8	50,455	68.5	13,020	17.7	5	0.0
22	74,711	100.0	9,776	13.1	48,235	64.6	16,608	22.2	92	0.1

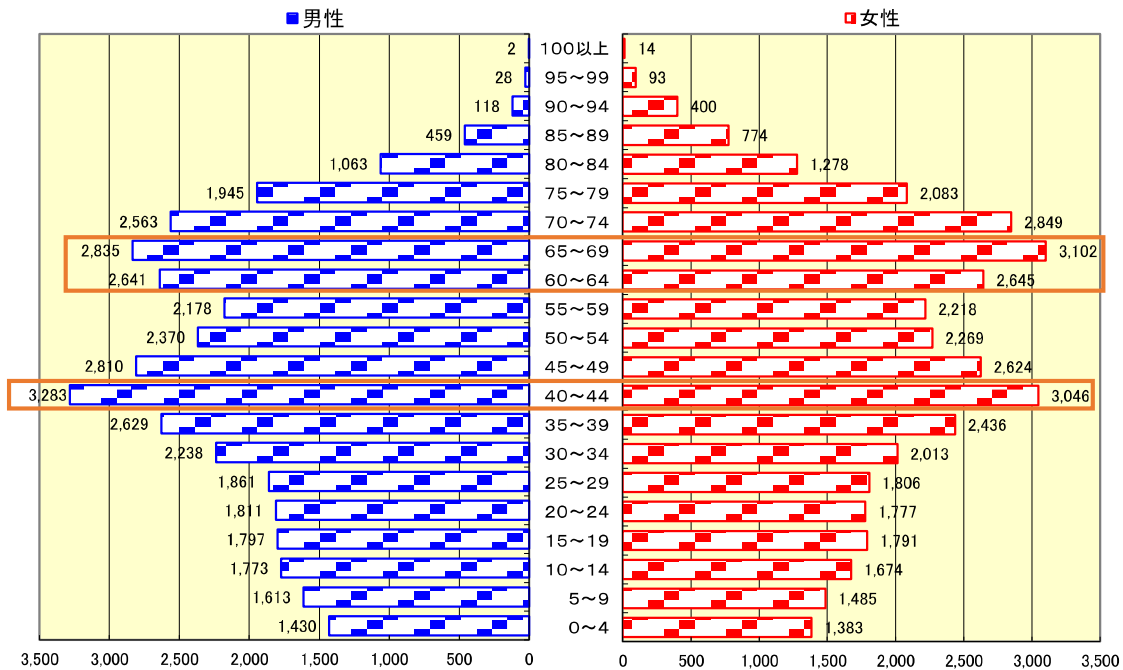
■年齢別構成指数〔国勢調査〕

年次	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
昭和55年	42.36	8.94	51.30	21.11
60	34.23	9.90	44.13	28.94
平成2年	25.62	10.79	36.42	42.12
7	21.56	13.34	34.90	61.89
12	20.44	18.30	38.74	89.50
17	20.21	25.81	46.02	127.68
22	20.27	34.43	54.70	169.89

注：年少人口指数＝年少人口÷生産年齢人口×100
 老年人口指数＝老年人口÷生産年齢人口×100
 従属人口指数＝(年少人口＋老年人口)÷生産年齢人口×100
 老年化指数＝老年人口÷年少人口×100

人口ピラミッドをみると、いわゆる団塊の世代を中心とした年代である60歳代と、その子どもに相当する40歳代前半を中心とする年代（団塊ジュニア）が多くなっています。団塊の世代の孫にあたる年代の“山”はみられず、少子化が進行しています。

■人口ピラミッド〔住民基本台帳：平成27年1月1日現在〕



地区別の人口をみると、平成27年1月1日現在、日出谷地区が16,897人で最も多く、駅西側周辺が16,438人、坂田地区が15,315人と続いています。

日出谷地区、坂田地区では増加傾向、駅東側周辺、駅西側周辺、加納地区、川田谷地区では減少傾向となっています。

■地区別人口（住民基本台帳：各年1月1日現在）

年次	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区
平成23年	12,992	16,923	16,682	14,682	7,645	7,063
24	13,007	16,868	16,636	14,766	7,559	6,999
25	12,972	16,614	16,836	14,954	7,383	6,919
26	12,781	16,381	16,860	15,128	7,270	6,846
27	12,618	16,438	16,897	15,315	7,176	6,763

■地区別人口指数（住民基本台帳）

年次	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区
平成23年	100	100	100	100	100	100
24	100	100	100	101	99	99
25	100	98	101	102	97	98
26	98	97	101	103	95	97
27	97	97	101	104	94	96

〈地区区分〉

- ◇駅東側周辺：東、西、南、北、寿、神明
- ◇駅西側周辺：泉、若宮、鴨川、朝日
- ◇日出谷：上日出谷、下日出谷、下日出谷西
- ◇坂田：末広、坂田、坂田東
- ◇加納：加納、篠津、五丁台、舎人新田、小針領家、倉田、赤堀
- ◇川田谷：川田谷

注：平成23年を100とします。

町丁目ごとの人口は、9,000人近い人口を有する町丁目や100人に満たない町丁目もあります。

平成22年から平成27年までの人口増加率をみると、下日出谷西二丁目及び坂田は10%以上増加しており、神明二丁目、坂田東三丁目など、5%以上～10%未満増加した町丁目が3地区、一方で南一丁目、篠津など、5%以上減少した地区は9地区ありました。

■町丁目ごとの人口〔住民基本台帳：平成27年4月〕 ■人口増加率〔住民基本台帳：各年4月1日現在〕

